野田市社会教育施設等長寿命化計画

（第五次改訂）

令和８年１０月

野田市教育委員会

目　　次

１　はじめに
（１）野田市社会教育施設等の長寿命化計画の位置付け　・・・・・・・・・・・・１

２　社会教育施設等の長寿命化計画の背景、目的等
（１）背景　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（３）計画期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

３　対象となる公共施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

４　社会教育施設等の実態
（１）運営状況、活用状況等の実態　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
ア　図書館以外の施設の利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
イ　図書館利用状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
ウ　対象施設　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

５　施設整備の基本的な方針等
（１）ファシリティマネジメントの基本方針の推進・・・・・・・・・・・・・・・７
（２）長寿命化の方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

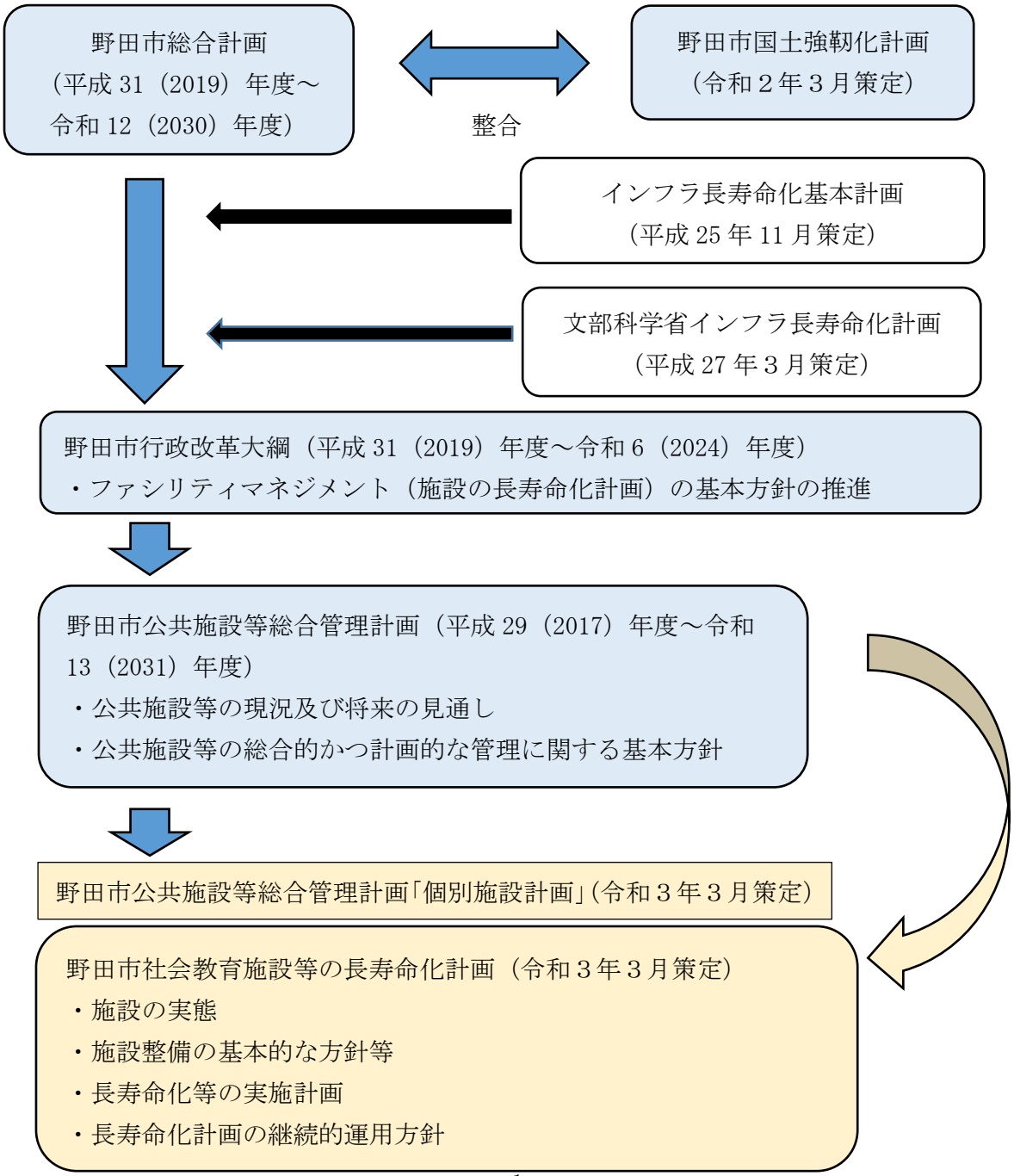
６　長寿命化等の実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（１）劣化状況の調査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（２）各社会教育施設等の劣化状況・・・・・・・　・・・・・・・・・・・・・13
１）市民文化系施設　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
２）社会教育系施設　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
３）スポーツ・レクリエーション系施設　・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
４）産業系施設　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
（３）改修等の優先順位　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

７　長寿命化に向けた継続的運用方針
（１）推進体制等の整備　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
（２）フォローアップ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

１　はじめに

（１）野田市社会教育施設等の長寿命化計画の位置付け

本市では、平成 29 年３月に「野田市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の更新と長寿命化の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を定めています。この中で、個別施設ごとの具体的な取組方針を定める計画（個別施設計画）を策定することを求めていることから、野田市公共施設等総合管理計画の個別施設計画と整合を図り、社会教育施設等の具体的な対応方針として、「野田市社会教育施設等の長寿命化計画」を策定するものです。



２　社会教育施設等の長寿命化計画の背景、目的等

（１）背景

本市では、昭和 40 年代から 60 年代に急激な人口の増加に合わせて、文化会館、勤労青少年ホーム、公民館等の社会教育施設等を集中的に整備しました。昭和 56 年以前に建設した施設は、耐震診断を行い、耐震結果に基づき適切な耐震化を図るとともに、施設の老朽化に対応するため、順次、大規模改修が必要となっている状況にあります。

改修工事及び改築（建替え）につきましては、多額の経費が必要となるため、コストの縮減及び予算の平準化を図りながら必要となる改修を行い、施設の機能を維持する必要があります。あわせて、人口減少、少子高齢化などの社会情勢の変化に対応するため、施設の適正配置を図る必要があります。

また、施設の整備については、その用途が市民の学習、文化活動拠点だけではなく、防災拠点、避難所としての機能、地域のコミュニティ施設としての利用があることから、地域の拠点として整備することも重要であると考えます。

（２）目的

本市では、平成 29 年３月に野田市公共施設等総合管理計画を策定しており、これに基づき社会教育施設等に係る長寿命化を図るため、本計画を策定します。

さらに、上記の背景を踏まえ、施設を総合的に捉え、コストの把握、施設の適正規模、適正配置、施設の再編など検討する材料としても活用することとします。

（３）計画期間

本計画は、野田市公共施設等総合管理計画の計画期間が令和 14 年３月までとなっていることから、終期を合わせることとし、計画期間を 11 年間としています。

また、社会経済情勢の変化がある場合など、必要に応じて本計画の見直しを行います。

3　対象となる公共施設

本計画の対象施設は、野田市公共施設等総合管理計画「個別施設計画」に記載された市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、産業系施設のうち、教育委員会が所管する 29 施設とします。

図書館は、南コミュニティセンター、北コミュニティセンターと欅のホール、いちいのホールに含むものとします。

欅のホール、南コミュニティセンター及び北コミュニティセンターは、市役所出張所を含むものとします。

中央公民館、勤労青少年ホームは、総合福祉会館を含むものとします。

また、本書においては南コミュニティセンター、北コミュニティセンター、欅のホール、いちいのホール、関宿複合センターの建物用途は複合施設とします。

旧花野井家住宅は、国重要文化財に指定されている歴史的な建築物であり、文化財として保存、活用していくものであることから、一般的な長寿命化や建替えの考え方になじまないため、本計画の対象から除くものとします。

〈国が示す分類に「市の公共施設」を分類〉

[]が野田市公共施設等総合管理計画「個別施設計画」に記載済み

大分類	中分類	施設名	施設数（施設）	延床面積（㎡）
市民文化系施設	集会施設	公民館 10、コミュニティセンター2、青少年センター、集会所 3、青年館 6	22	16,070.86
	文化施設	文化会館、欅のホール、市民会館	3	13,288.62
社会教育系施設	博物館等	郷土博物館、鈴木貫太郎記念館	2	807
スポーツ・レクリエーション系施設	レク・観光施設	関宿あおぞら広場（体験棟）	1	405
産業系施設	産業系施設	勤労青少年ホーム	1	1,357.15
行政系施設	庁舎等	いちいのホール（うち、せきやど図書館及び関宿コミュニティ会館）	[1]	[5,887.01]
			29 [1]	31,928.63 [5,887.01]

４　社会教育施設等の実態

（１）運営状況、活用状況等の実態

ア　図書館以外の施設の利用状況　　（人/年）

施設名	建物名	所管課	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	
文化会館	文化会館	生涯学習課	110,909	92,277	124,187	101,672	122,075	
勤労青少年ホーム	事務所・体育館	生涯学習課	26,473	26,841	28,899	29,423	30,601	
中央公民館	公民館	生涯学習課	98,916	117,841	121,377	115,233	115,509	
生涯学習センター	欅のホール	生涯学習課	131,016	133,074	130,611	126,506	130,072	
東部公民館	公民館	生涯学習課	40,475	36,785	36,978	34,783	35,923	
南部梅郷公民館	公民館	生涯学習課	52,986	51,464	56,806	52,112	49,771	
北部公民館	公民館	生涯学習課	40,567	37,563	39,086	36,714	37,012	
川間公民館	公民館	生涯学習課	13,595	12,086	12,868	26,055	29,215	
福田公民館	公民館	生涯学習課	25,342	23,822	26,956	29,177	28,261	
関宿中央公民館	公民館	生涯学習課	19,254	18,238	19,092	21,113	21,136	
関宿公民館	公民館	生涯学習課	10,433	9,898	10,197	10,096	9,103	
二川公民館	公民館	生涯学習課	15,785	15,631	16,791	16,146	18,070	
木間ケ瀬公民館	公民館	生涯学習課	22,273	21,839	22,761	23,154	22,314	
青少年センター	事務所	青少年課	4,983	5,212	4,554	5,538	5,629	
関宿あおぞら広場	体験棟	青少年課	4,708 (836)	5,433 (845)	6,654 (2,156)	7,905 (2,005)	6,876 (1,625)	※
郷土博物館	博物館	生涯学習課	32,164	29,789	28,445	34,189	31,668	
市民会館	会館	生涯学習課	13,868	13,877	15,292	15,126	14,935	
鈴木貫太郎記念館	博物館	生涯学習課	5,375	13,907	6,921	5,707	11,246	
南コミュニティ会館	南コミュニティセンター	興風図書館	48,840	52,040	51,485	49,850	47,997	
北コミュニティ会館	北コミュニティセンター	興風図書館	63,353	65,003	65,049	64,047	64,666	
関宿コミュニティ会館	いちいのホール	興風図書館	13,710	17,765	16,811	14,260	14,571	
七光台集会所	集会所	生涯学習課	3,581	5,242	4,775	3,768	3,881	
島集会所	集会所	生涯学習課	3,273	3,497	2,976	2,853	2,214	
西町集会所	集会所	生涯学習課	1,596	1,720	1,160	785	858	
灰毛青年館	青年館	青少年課	271	206	100	364	352	
目吹六区青年館	青年館	青少年課	44	42	63	63	44	
清水中央青年館	青年館	青少年課	1,797	2,710	2,531	1,812	1,492	
川間駅前青年館	青年館	青少年課	492	856	674	475	368	
西亀山青年館	青年館	青少年課	2,556	5,050	4,603	3,724	5,474	
上花輪新町青年館	青年館	青少年課	1,314	1,129	1,493	1,403	1,421	
		合計	809,949	820,837	860,195	834,053	862,754	

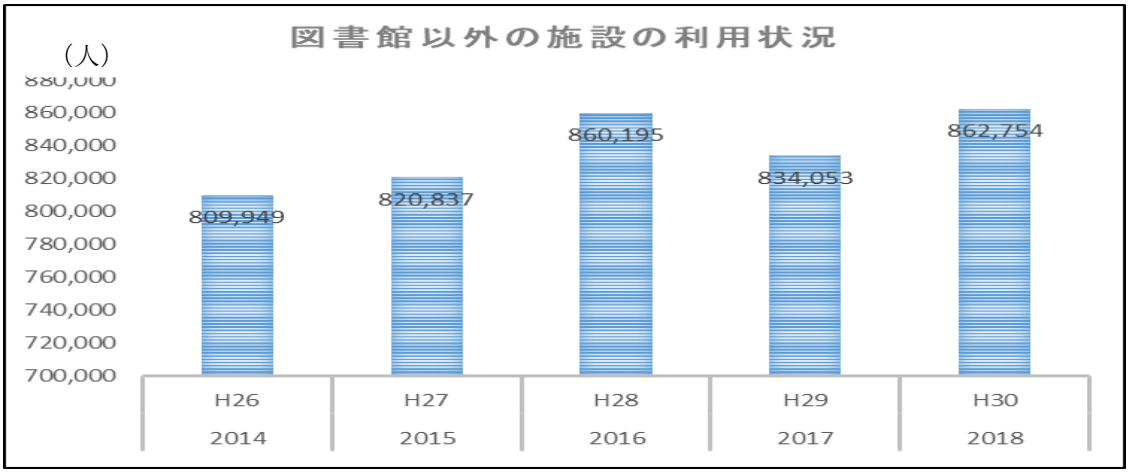
※　関宿あおぞら広場は、上段に施設の利用人数、下段（）内に体験棟の利用人数を記載しています。

イ　図書館利用状況　　（図書貸出点数）

施設名	建物名	所管課	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30
興風図書館	欅のホール	興風図書館	444,074	452,322	441,199	424,130	426,423
南図書館	南コミュニティ会館	興風図書館	222,290	228,721	224,317	220,660	221,185
北図書館	北コミュニティ会館	興風図書館	232,280	241,467	231,027	230,340	228,453
せきやど図書館	いちいのホール	興風図書館	119,310	116,105	110,893	97,611	102,292
		計	1,017,954	1,038,615	1,007,436	972,741	978,353

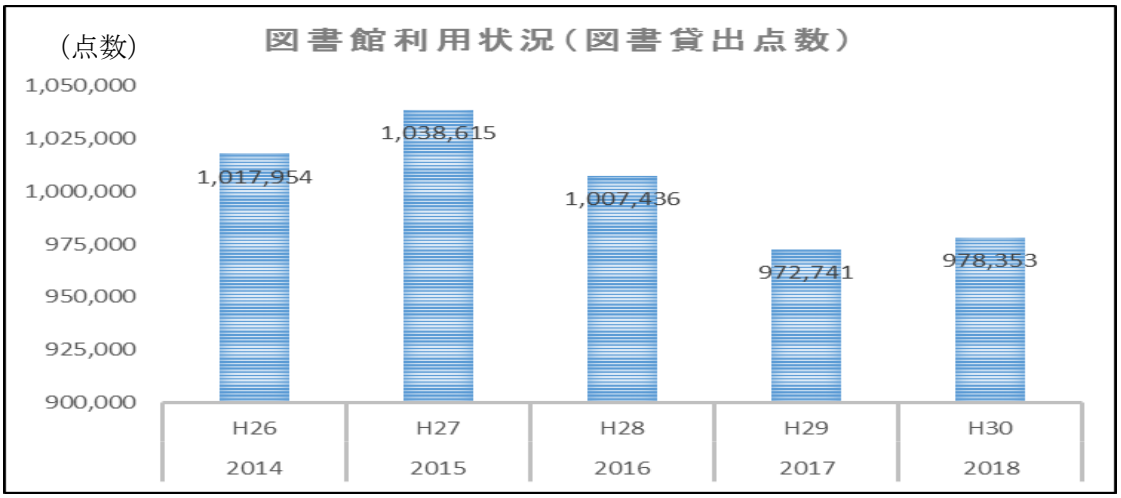
利用状況等【図書館以外の施設】

平成 26 年度から平成 30 年度までの５年間の図書館以外の施設の利用者数の推移を見ると、平成 30 年度が 86.3 万人と最も多く、利用者数は増加傾向が見られます。

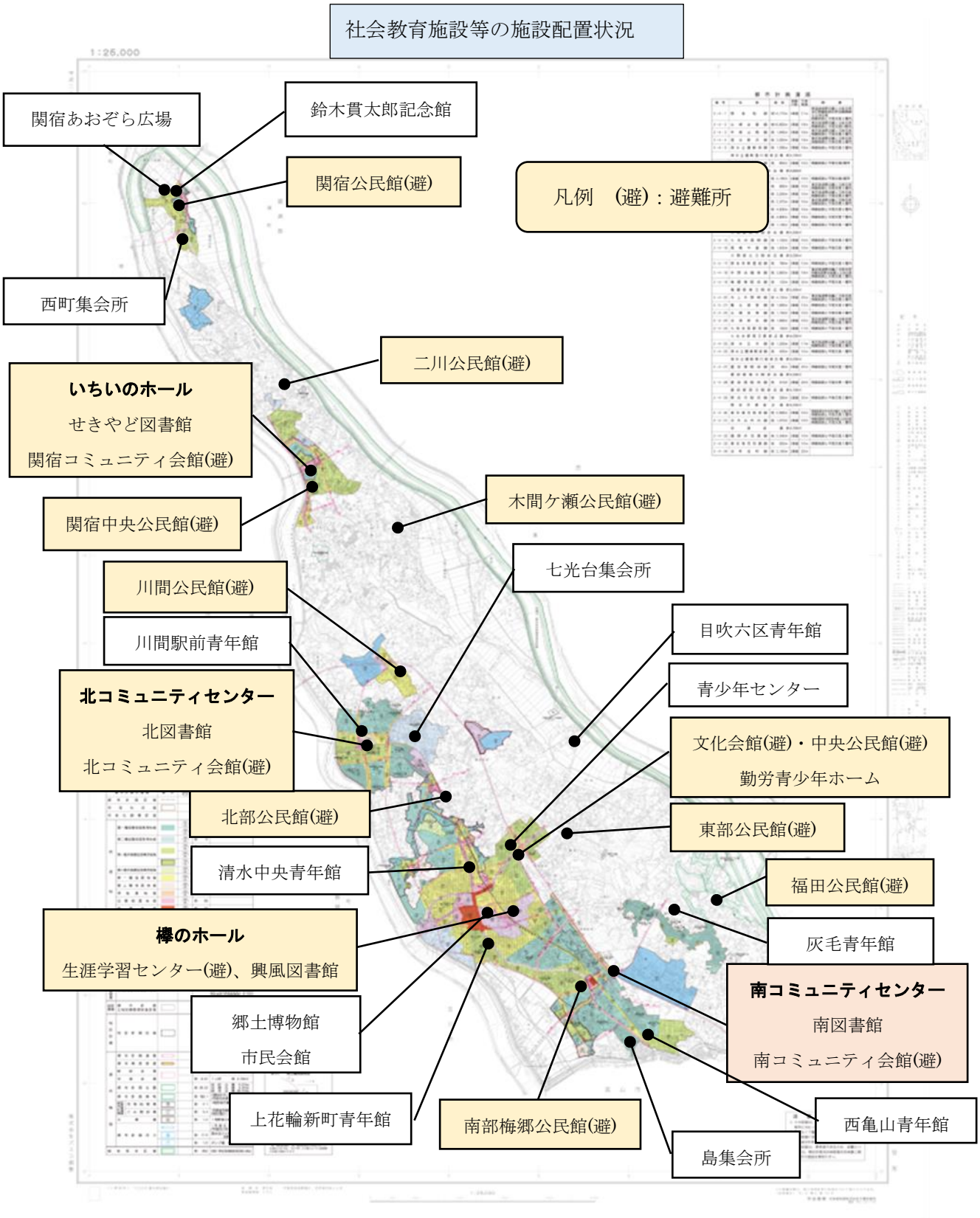


利用状況等【図書館　図書貸出点数】

平成 26 年度から平成 30 年度までの５年間の図書館の図書貸出点数の推移を見ると、平成 27 年度が 103.8 万点と最も多く、平成 28 年度は 100.7 万点に減少し、さらに平成 30 年度は 97.8 万点と、減少傾向が見られます。



ウ　対象施設


社会教育施設等の施設配置状況
凡例　(避)：避難所
関宿あおぞら広場
鈴木貫太郎記念館
関宿公民館(避)
西町集会所
二川公民館(避)
いちいのホール
せきやど図書館
関宿コミュニティ会館(避)
関宿中央公民館(避)
木間ケ瀬公民館(避)
七光台集会所
川間公民館(避)
川間駅前青年館
北コミュニティセンター
北図書館
北コミュニティ会館(避)
目吹六区青年館
青少年センター
文化会館(避)・中央公民館(避)
勤労青少年ホーム
北部公民館(避)
東部公民館(避)
清水中央青年館
福田公民館(避)
欅のホール
生涯学習センター(避)、興風図書館
灰毛青年館
南コミュニティセンター
南図書館
南コミュニティ会館(避)
郷土博物館
市民会館
上花輪新町青年館
南部梅郷公民館(避)
西亀山青年館
島集会所

５　施設整備の基本的な方針等

（１） ファシリティマネジメントの基本方針の推進

行政改革大綱に規定されているファシリティマネジメントの基本方針を軸として施設整備に努めていく。

＜基本方針＞

1） 厳しい財政事情及び施設の効率的有効活用の観点から、施設の建替えは基本的に行わず、長寿命化を図ることを基本とする。

2） 建替えは、躯体強度に問題が生じ改修などが困難な場合及び施設の構造等からその効用が十分果たせなくなった場合に行う。

3） 長寿命化に当たっては、耐震性に加え老朽化の確認も必要であり、耐震性と老朽化を把握した上で、建物の長寿命化を計画する必要がある。

4） 耐震改修以外の施設の長寿命化対策は、防水、排水等施設の維持管理上欠くことのできない改修を最優先し、次に、エレベータ設置等施設の効用を増進させる改修に取組んでいく。また、施設の長寿命化の基本的な部分以外についても、必要性に応じ内装等の改修を検討する。

5）法定点検、定期点検、日常点検を徹底し、修繕が必要なものについては、即対応する。なお、点検実施の履行及び点検結果への対応について、管理を徹底していく。

また、各点検を確実に実施していくため、民間委託による点検の導入に取組んでいく。

6） 施設の点検や管理状況を一元的に把握し、計画的な改修及び維持管理を行うため、施設管理は施設管理者を基本とするが、総務部営繕課において、全施設における維持管理の進行管理を行っていく。

7）施設の効用を増進されることを目的とする改修は、バリアフリーの視点に立った改修とする。

8）施設のバリアフリー化については、長寿命化のための改修時だけでなく、財政事情の許す範囲内で、引続き計画的に順次進める。

9）学校のトイレ改修、消防器具置場の改築等、これまで計画的に順次整備を進めているものについては、引き続き計画的な整備を進めていく。

10）新たな施設は設置せず、学校の余裕教室など既存施設の有効活用を基本とする。

また、施設の統廃合については、当該施設の果たしてきた役割、地域への影響等を勘案し、検討する。

11）国の補助等財政的に有利な制度を活用できるときは、優先順位を変更して実施することを検討する。

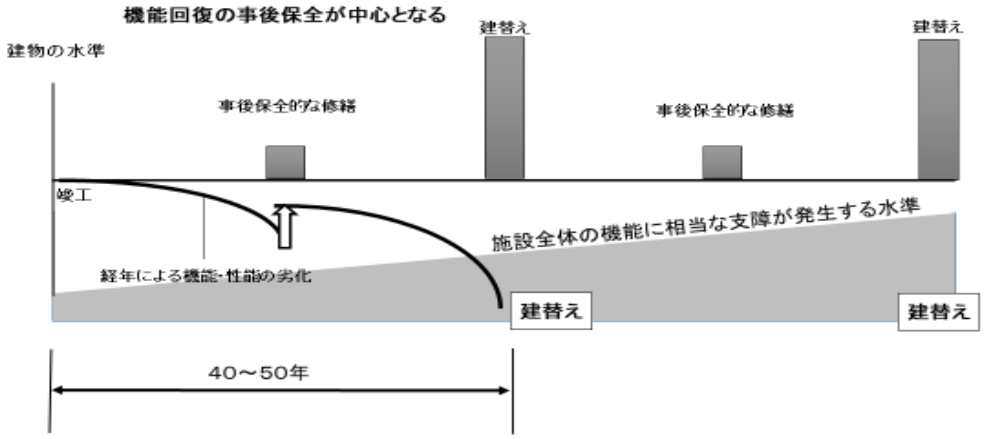
（２）長寿命化の方針

公共施設は、適切に維持することにより長寿命化を図ることができるとされており、総合管理計画では日本建築学会が示す「建築物の耐久計画に関する考え方」による目標耐用年数範囲 50～80 年を考慮し、建替え周期を 80 年として将来コストを推計し、長寿命化による更新費用の削減効果を提示している。

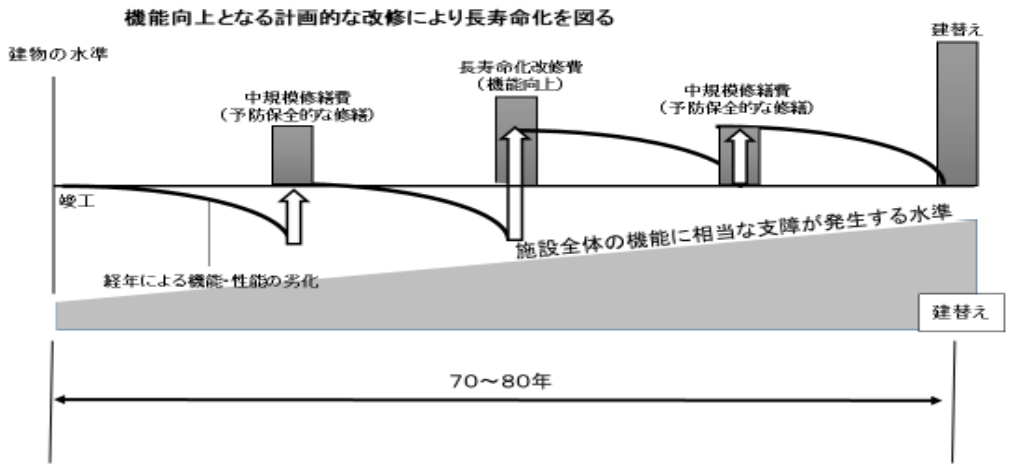
長寿命化は、建替えと比較し構造体の工事が不要となるため、工事費の縮減や工期の短縮が可能となる他、廃棄物の排出量の減少による環境負荷の低減にもつながることから、本市においては目標耐用年数を 80 年と定め、長寿命化に向けた施設整備に努めていく。

【建替え中心から長寿命化への転換イメージ】

○建替え中心のイメージ



○長寿命化のイメージ

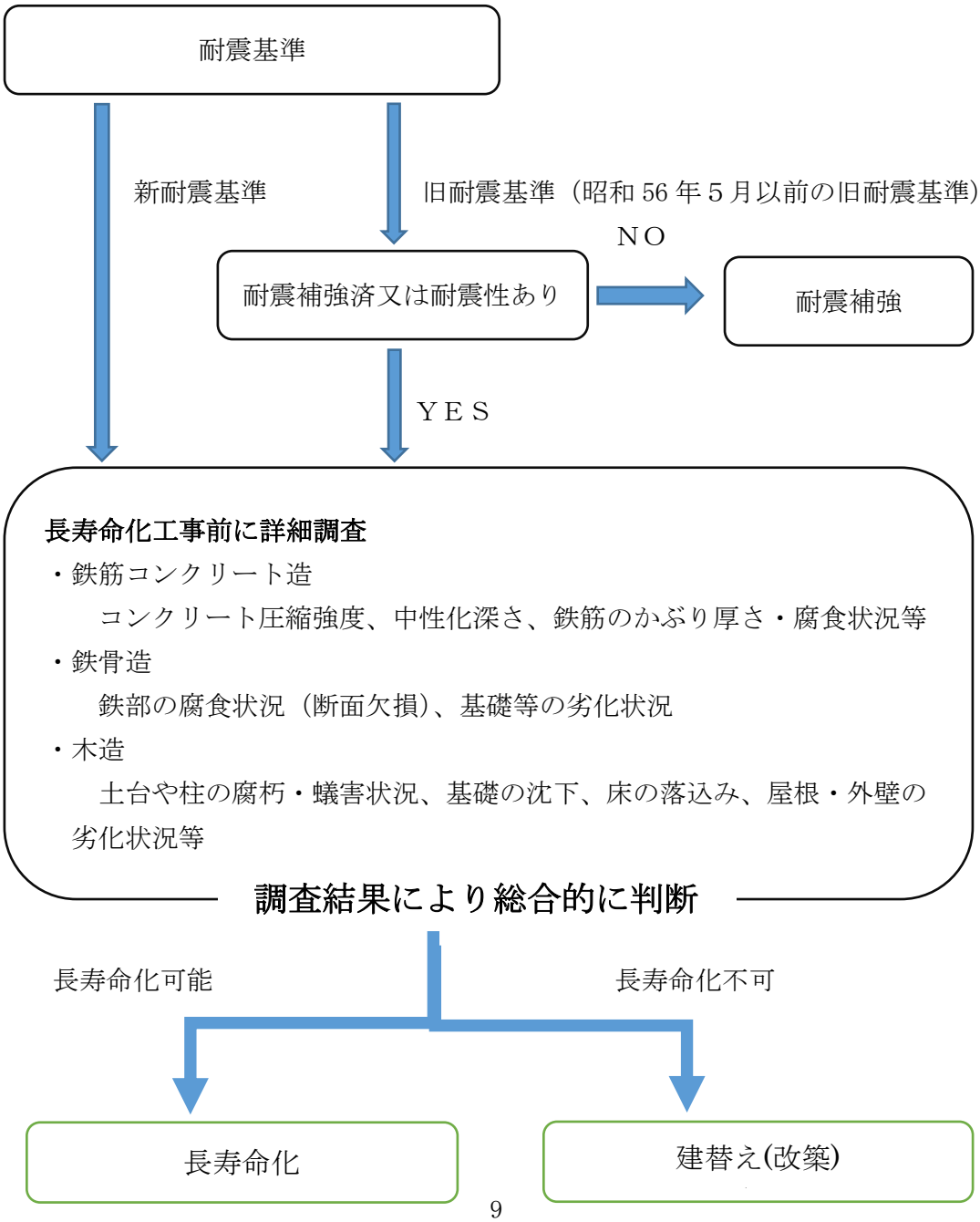


6　長寿命化等の実施計画

施設の実態を把握するため、劣化状況調査を行います。

屋根・屋上及び外壁は目視により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修を実施した年からの経過年数により、Ａ～Ｄの４段階で評価を行い、劣化状況を把握します。なお、構造躯体の健全性が長寿命化の前提となるため、旧耐震基準の建物は耐震診断報告書を参考に、また、新耐震基準の建物は長寿命化工事実施前に躯体の詳細調査を実施し、長寿命化の可否を判断します。

長寿命化の判定フロー



（１）劣化状況の調査

ア　評価基準：屋根・屋上〉

目視状況を事例に照らしてＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４段階で評価する。

《解説》

〈点検項目〉

✓最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。

✓防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開きがなどがないか。

✓金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがないか。

✓上記のような劣化事象の箇所数を記入。

〈点検の留意点〉

✓ルールドレイン（屋上排水口）や排水講は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂などが溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜りができてしまい、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。

✓目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。

✓パラペット立上り部分の防水端部で、剥がれ等が無いか確認する。

✓屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。

✓1 箇所の劣化事象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。

✓現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を１段階引き下げる。

✓現状として、降雨時に複数箇所で雨漏りしている場合をＤ評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね 10 箇所以上をＤ評価とする。ただし、屋上防水は改修済でも、天井ボートは既存のままとなっている学校が多く、見極める必要がある。

良好 ⟶ 劣化

評価／仕様	A	B	C	D
アスファルト保護防水	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷ある。	広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、損壊、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
アスファルト露出防水	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、ふくれ、変質（摩耗）、排水不良がある。	広範囲に、ひび割れ、変質（摩耗）、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
シート防水	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、ふくれ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。	広範囲に、ふくれ、しわ, 穴あき、変質（摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
塗膜防水	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、ふくれ、しわ、変質(スポンジ状)、排水不良がある。	広範囲に、ふくれ、しわ, 穴あき、変質（摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
金属板（長尺、折板、平葺き）	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、金属のさびがある。	広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび，取付金物のさび、部分的な腐食・損壊があり、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損壊があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。

イ　評価基準：外壁

目視状況を事例に照らしてＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４段階で評価する。

《解説》

〈点検項目〉

✓外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。

✓外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りができてないか。

✓外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。

✓建具枠、蝶番などの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。

✓窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剝れなどがないか。

✓上記のような劣化事象の箇所を記入

〈点検の留意点〉

✓目視によって外壁の状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。

✓外壁のタイル、モルタルなどに剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周辺に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。

✓スチールサッシは、錆の影響による開閉不良・鍵の破損等について確認する必要がある。

✓現状として、降雨時に複数箇所で雨漏りしている場合をＤ評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね 10 箇所以上をＤ評価とする。

✓鉄筋の露出は、概ね 5 箇所以上をＤ評価とする。

良好 ⟶ 劣化

評価／仕様	A	B	C	D
塗り仕上げ	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、ひび割れ・変質･浮き・さび汁がある。	広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質、・浮き・剥がれ・さび汁があり、小規模な漏水がある。	広範囲に、剥落・爆裂･、幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
タイル張り 石張り	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、ひび割れ･変質･浮きはらみ･さび汁･シーリング材のひびがある。	広範囲に、ひび割れ・変質･浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。	広範囲に、剥落･爆裂･幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
金属系パネル	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、さび・変質･シーリング材のひびがある。	広範囲に、さび･変質･シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	広範囲に、さび･腐食･ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
セメント系パネル	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、ひび割れわ・変質・欠損･シーリング材のひびがある。	広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
窓(サッシ)	良好 汚れている程度 改修後 10 年以内	部分的に、変形・変質･シーリング材の硬化。	全体的に、変形･変質･さび・シーリング材の硬化・ひび割れが見られる。	全体的に腐食･損壊･開閉不良があり、漏水がある。

ウ　評価基準：内部仕上げ、電気設備、機械設備

内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４段階で評価する。

【評価基準】

目視による評価　【屋根・屋上、外壁】



評価	基　準	評価点
A	概ね良好	10
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	40
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	75
D	早急に対応する必要性がある。 （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている。） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等	100

経過年数による評価　【内部仕上げ、電気設備、機械設備】



評価	基　準	評価点
A	20 年未満	10
B	20～40 年	40
C	40 年以上	75
D	経過年数に関わらず著しく劣化事象がある場合	100

エ　劣化度の算定

各建物の５つの部位（①屋根・屋上、②外壁、③内部仕上げ、④電気設備、⑤機械設備）について劣化状況を４段階で評価し、平均点を評価点とする。

また、構造躯体については建設後の経過年数（築年数）を評価点とする。

上述の構造躯体以外の評価点及び構造評価点の合計点を総合劣化度として評価する。

総合劣化度＝構造躯体以外の評価点＋構造躯体の評価点

（２）　各社会教育施設等の劣化状況

1)　市民文化系施設

1-1)公民館

【劣化状況】

経年による劣化が進んでいるが、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
No.	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積（㎡）	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	集会施設	中央公民館（総合福祉会館を含む）	公民館	RC	3F	2,782.82	1974	S49	52	旧	済	H30	済	R1	A	C	C	C	C	62	52	114
2		東部公民館	公民館	RC	1F	674	1991	H3	35	新	－	－	－	－	B	B	B	B	B	40	35	75
3		南部梅郷公民館	公民館	RC	1F	857	2001	H13	25	新	－	－	－	－	B	B	B	B	B	40	25	65
4		北部公民館	公民館	RC	1F	669	1990	H2	36	新	－	－	－	－	B	B	B	B	B	40	36	76
5		川間公民館	公民館	RC	1F	800	2016	H28	10	新	－	－	－	－	A	A	A	A	A	10	10	20
6		福田公民館	公民館	RC	1F	690	1983	S58	43	新	－	－	－	－	B	B	C	C	C	61	43	104
7		関宿中央公民館	公民館	RC	2F	1,125	1974	S49	52	旧	済	R1	不要		C	B	C	C	C	68	52	120
8		関宿公民館	公民館	RC	2F	527	1983	S58	43	新	－	－	－	－	C	C	C	C	C	75	43	118
9		二川公民館	公民館	RC	2F	801	1987	S62	39	新	－	－	－	－	C	C	B	B	B	54	39	93
10		木間ケ瀬公民館	公民館	RC	2F	964	1990	H2	36	新	－	－	－	－	B	B	B	B	B	40	36	76

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	中央公民館（総合福祉会館を含む）	トイレ改修工事（13 百万円）	屋上防水改修工事（31 百万円）	排煙窓改修工事（16 百万円）	機能維持

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
2	東部公民館	機能維持	空調設備改修工事 （和室） （4 百万円） 受変電設備改修工事 （4 百万円）	機能維持	機能維持
3	南部梅郷公民館	機能維持	空調設備改修工事 （室外機） （1 百万円）	空調設備室外機更新工事 （31 百万円）	機能維持
4	北部公民館	空調設備改修工事 （18 百万円）	電力地中線用負荷開閉器交換工事 （2 百万円）	機能維持	機能維持
5	川間公民館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持
6	福田公民館	機能維持	空調設備改修工事 （講堂） （3 百万円）	機能維持	機能維持
7	関宿中央公民館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持
8	関宿公民館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持
9	二川公民館	空調設備改修工事 （事務室） （4 百万円）	空調設備改修工事 （和室） （2 百万円） 空調設備改修工事 （図書室） （2 百万円） 受水槽設備改修工事 （2 百万円） 受変電設備改修設計 （3 百万円）	受変電設備改修工事 （59 百万円） 空調設備改修設計 （大会議室） （2 百万円） 空調設備改修工事 （大会議室） （17 百万）	機能維持
10	木間ケ瀬公民館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持

1-2）コミュニティセンター

【劣化状況】

経年による劣化が進んでいるため、改修工事を実施していくとともに、引続き日常点検等による保全にも努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
番号	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積（㎡）	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	集会施設	南コミュニティセンター	複合施設	RC	2F	2,292	1989	H1	37	新	—	—	—	—	B	B	B	B	B	40	37	77
2		北コミュニティセンター	複合施設	RC	2F	2262.04	1990	H2	36	新	—	—	—	—	B	C	B	B	B	47	36	83

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	南コミュニティセンター	機能維持	外壁補修工事 （17 百万円） 屋上等防水改修工事 （15 百万円）	空調設備設置工事 （和室） （7 百万円）	機能維持
2	北コミュニティセンター	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持

1-3)青少年センター

【劣化状況】

経年による劣化が進んでいるが、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
番号	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積（㎡）	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	集会施設	青少年センター	事務所	RC	2F	551	1983	S58	43	新	－	－	－	－	C	B	C	C	C	68	43	111

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	青少年センター	機能維持	機能維持	トイレ改修工事 （6 百万円）	機能維持

1-4)集会所

【劣化状況】

経年による劣化が進んでいるたが、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
番号	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積（㎡）	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	集会施設	七光台集会所	集会所	RC	1F	132	1984	S59	42	新	－	－	－	－	B	C	C	C	C	68	42	110
2		島集会所	集会所	RC	1F	132	1989	H1	37	新	－	－	－	－	B	C	B	B	B	47	37	84
3		西町集会所	集会所	RC	2F	167	1976	S51	50	旧	済	R7	不要		C	C	C	C	C	75	50	125

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	七光台集会所	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持
2	島集会所	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持
3	西町集会所	機能維持	機能維持	耐震診断 （8 百万円）	機能維持

1-5)青年館

【劣化状況】

経年による劣化が進んでいるが、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
番号	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積（㎡）	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	集会施設	灰毛青年館	青年館	W	1F	89	1972	S47	54	旧	未				D	C	C	C	C	80	54	134
2		目吹六区青年館	青年館	W	1F	83	1972	S47	54	旧	未				D	C	C	C	C	80	54	134
3		清水中央青年館	青年館	W	1F	79	1973	S48	53	旧	未				A	C	C	C	C	62	53	115
4		川間駅前青年館	青年館	W	1F	78	1975	S50	51	旧	未				C	C	C	C	C	75	51	126
5		西亀山青年館	青年館	W	1F	162	1975	S50	51	旧	未				C	C	C	C	C	75	51	126
6		上花輪新町青年館	青年館	W	1F	148	1979	S54	47	旧	未				C	C	C	C	C	75	47	122

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	灰毛青年館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持
2	目吹六区青年館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持
3	清水中央青年館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持
4	川間駅前青年館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持

5	西亀山青年館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持
6	上花輪新町青年館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持

1-6)文化会館

【劣化状況】

経年による劣化が進んでいるが、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
番号	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	文化施設	文化会館	劇場	RC	4F	4,757	1974	S49	52	旧	済		済		A	A	C	C	C	42	52	94

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	文化会館	機能維持	機能維持	アスベスト対策工事 （15 百万円） 舞台吊物改修工事 （385 百万円）	機能維持

1-7）欅のホール

【劣化状況】

経年による劣化が進んでいるが、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
番号	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	文化施設	欅のホール	複合施設	SRC	B1F 5F	7,913.62	1998	H10	28	新	—	—	—	—	B	B	B	B	B	40	28	68

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	欅のホール	非常用発電機修繕工事 (6 百万円)	中央監視装置更新工事 (15 百万円) 非常電源用蓄電池交換工事 (2 百万円) 空調設備改修工事設計（一斉空調設備） (3 百万円) 直流電源装置更新	空調設備改修工事 （一斉空調設備） (97 百万円) エレベータ更新工事設計	エレベータ更新工事

			工事 (22 百万円) 空調設備改修工事 （集会室） (6 百万円) 消防設備更新工事 (12 百万円) 空調設備改修工事 （一斉空調設備） (79 百万円)		

1-8)市民会館

【劣化状況】

更新時期を経過しているが、登録有形文化財として保存、活用すべき建物である。経年による劣化が進んでいるが、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
番号	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	文化施設	市民会館	会館	W	1F	618	1924	T13	102	旧					C	C	C	C	C	75	102	177

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	市民会館	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持

2)　社会教育系施設

2-1)郷土博物館

【劣化状況】

令和３年２月に、国登録有形文化財に登録され、登録有形文化財として保存、活用すべき建物となった。経年による劣化が進んでいることから、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
No.	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	博物館等	郷土博物館	博物館	RC	2F	598	1959	S34	67	旧	済	R4	要		C	B	C	C	C	68	67	135

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	郷土博物館	機能維持	耐震診断 (5 百万円) 屋根改修工事 (24 百万円)	機能維持	機能維持

2-2)鈴木貫太郎記念館

【劣化状況】

令和２年度の耐震診断により補強が困難であることが判明し、大きな地震に耐えられない可能性が極めて高いことから、建て替えを行う。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価								
No.	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積（㎡）	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	総合評価
							西暦	和暦														
1	博物館等	鈴木貫太郎記念館	博物館	RC	1F	209	1963	S38	63	旧	済	R2	要		D	B	C	C	C	73	63	136

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	鈴木貫太郎記念館	建て替えの検討	建て替えの検討、基本構想の策定	基本計画の策定 建て替えの設計、施工	新記念館の機能維持

3)　スポーツ・レクリエーション系施設

3-1)関宿あおぞら広場　体験棟

【劣化状況】

経年による劣化は進んでいるが、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価								
No.	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積（㎡）	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	総合評価
							西暦	和暦														
1	レク観光施設	関宿あおぞら広場体験棟	体験棟	W	1F	405	1978	S53	48	旧	未				C	C	C	C	C	75	48	123

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	関宿あおぞら広場体験棟	機能維持	機能維持	機能維持	機能維持

4)　産業系施設

4-1)勤労青少年ホーム

【劣化状況】

経年による劣化は進んでいるが、引続き日常点検等による保全に努めていく。

建物基本情報										構造躯体の耐震性					劣化状況評価							総合評価
No.	中分類	施設名、建物名称	建物用途	構造	階数	延べ面積（㎡）	建築年度		築年数	基準	診断	診断年度	補強	補強年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価	構造躯体評価	
							西暦	和暦														
1	産業系施設	勤労青少年ホーム（総合福祉会館を含む）	事務所	RC	2F	920.43	1971	S46	55	旧	済	R5	不要		C	B	C	C	C	68	55	123
2			体育館	S	1F	436.72	1972	S47	54	旧	済	R5	要		C	C	C	C	C	75	54	129

【今後の計画】

No.	施設名、建物名称	対策内容と実施時期　R2～R13（2020～2031）			
		現時点（R2）	前期～R6	中期～R10	後期～R13
1	勤労青少年ホーム事務所	機能維持	耐震診断 （4 百万円）	機能維持	機能維持
2	勤労青少年ホーム体育室	機能維持	耐震診断 （7 百万円）	機能維持	機能維持

（３）改修等の優先順位

各施設の長寿命化計画は、総合劣化度を基本に、施設の重要性や利用状況等を勘案し、野田市総合計画実施計画に位置付けます。

7　長寿命化に向けた継続的運用方針

施設の長寿命化にあたっては、予防保全的な維持管理が重要となることから、施設の基本情報や光熱水費をはじめとする運営費、修繕等の工事履歴や劣化状況等の正確な状況を把握し、整備計画に反映させることとします。

（1）　推進体制等の整備

社会教育施設等の長寿命化計画を継続的に運用するために、庁内の関係課と連携を図り、全庁的な体制で取り組みます。

また、避難所としての機能強化、ユニバーサルデザインの導入、省エネルギー化等の観点を重視し、施設整備に反映させることとします。

（2）　フォローアップ

本計画は、総合管理計画に基づき基本的な整備方針を位置付けるものであり、野田市総合計画実施計画において、実施年度を決定しますが、厳しい財政状況に鑑み当該年度の予算査定において与えられた財源の中で確定するものとします。

なお、今後より具体的な計画を整備し本計画に反映させるものとします。

また、今後の社会経済情勢やニーズの変化等により、必要に応じて本計画を見直すものとします。

野田市社会教育施設等長寿命化計画
（第四次改訂）

令和８年３月

野田市教育委員会